

第11回「おきなわの観光」
意見発表コンクール

「未来の沖縄の観光」

Asian M-Games in Okinawa

～ “M-Games” で拓く沖縄観光の未来 ～

琉球大学

観光産業科学部3年次

赤嶺 美沙祈

X-Gamesのマリンスポーツ Ver.

“AMGs”

(Asian Marine Games in Okinawa)

を提案 !!

沖縄を

“Neo Marine Sportsの聖地”

に !!

アイディアの背景

郷土の自立には、

“リーディング産業 = 観光”

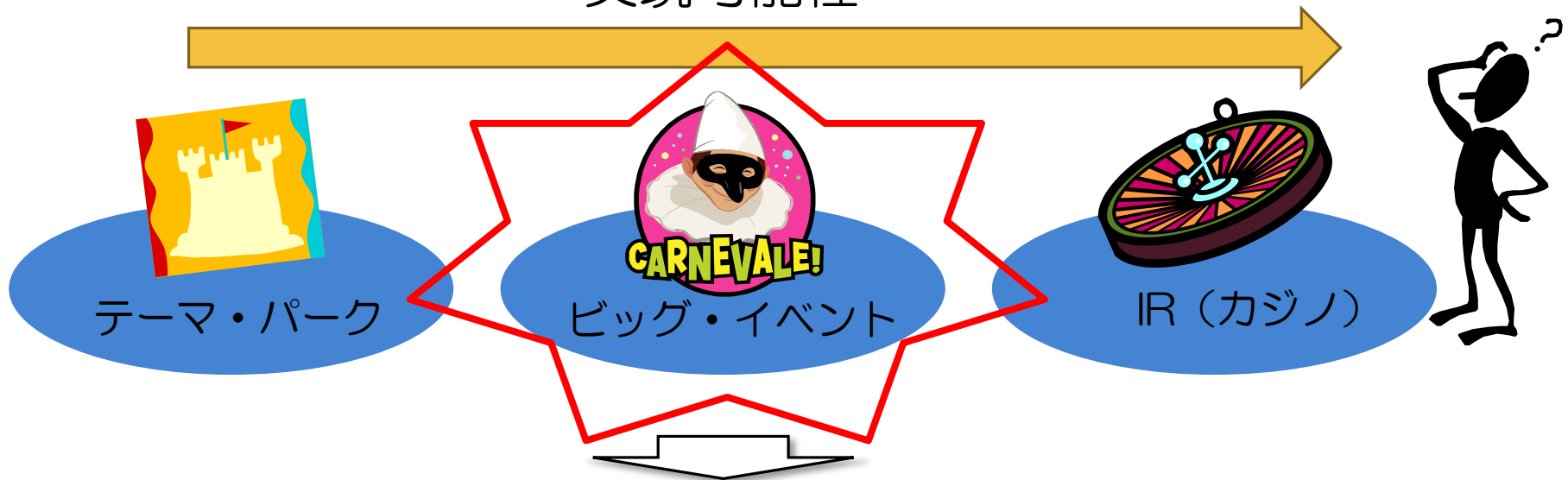
の更なる発展が必要！



アイディアの背景（続）

沖縄観光に欠けている“仕掛け”は？

実現可能性



All 沖縄で行う沖縄らしい

“ビッグ・イベント”

の開催を目指そう！

X-Gamesとは？

X-Gamesはアメリカを中心に、全世界でテレビ放送されている。アスペン（米）大会の視聴者数は約1億人。

よって、開催後は世界的に有名になる。ソチオリンピック日本代表の平野歩夢他もX-Games出身者。



- ☆ 海外からの高い集客効果が期待できる！
- ☆ 国際観光地「沖縄」の認知度向上につながる！

実行可能性：運営主体



“自前至上主義”は是か？

地域のリソース（資源）には限りが...



(入口) ←————→ (出口)

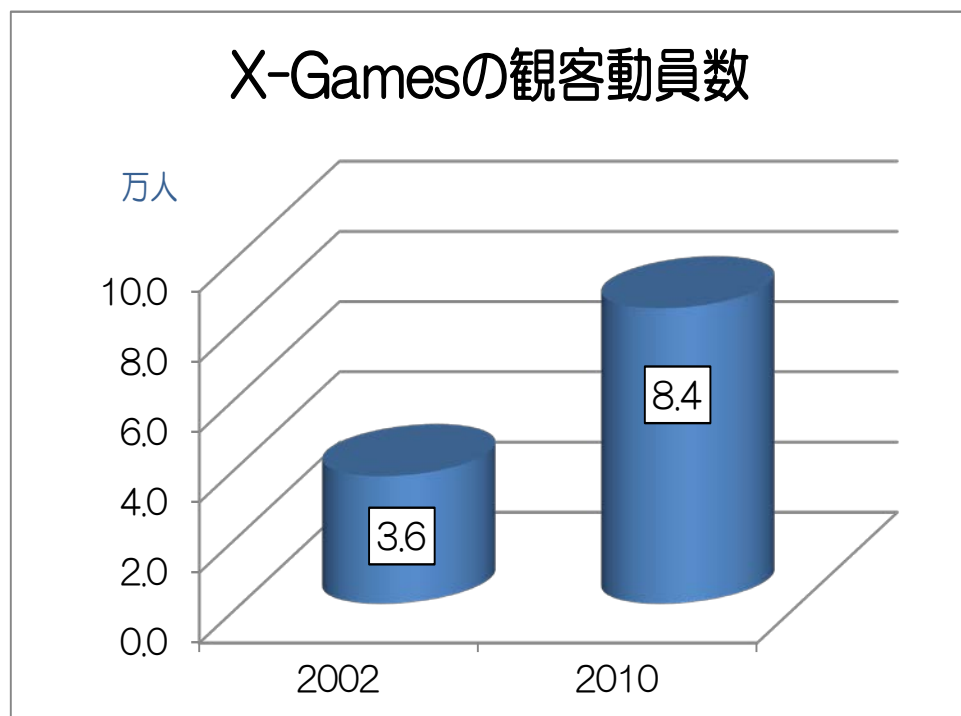
誘致 → 共催 → **主催**



先例も！

“沖縄国際映画祭”も「主催：沖縄国際映画祭実行委員会」，
「共催：（株）よしもとラフ＆ピース」のコンビで6回目を数える。

実行可能性： X-Gamesの誘客・経済効果



★ 地元ホテルの部屋
占有率が平均して
26%UP

★ イベント開催期間の
物販売上は、
約2億9,000万円
に上る

※ H24宮古島トライアスロン ≡ 約2億2,000万円

将来性・継続性： イベントの集中開催



“地の利”を活かし「閑散期」に併催

沖縄を若者文化の聖地とし、世界から若い観光客を勧誘。



大会の収入の一部を“海の保全の費用”に！

“M-Games” で拓く沖縄観光の未来

国際観光地沖縄の “知名度” の “向上”

振興計画で謳う “沖縄らしさ” に基づく
「世界水準の観光リゾート地」といっ
た沖縄観光の将来像の実現

国際観光地沖縄県民としての “自負” を育む

参考文献・資料

1. 沖縄県（2012）『沖縄県観光振興基本計画（平成24年度から平成33年度）』。
2. マーク・オラムス（2003）『海洋観光学入門』（石井昭夫訳）立教大学出版会。
3. 「スポーツマネジメントfrom USA」
＜<http://admsportsbiz.blogspot.jp>＞（参照2014.6.10）
4. 「マリンカップ in 沖縄」
＜<http://www.shakai-sc.or.jp/marinecup/>＞（参照2014.6.10）

etc.

コンテストへの参加を通して

沖縄観光の現状を知り

沖縄観光の過去を知り

沖縄観光の未来を考えました



ご清聴ありがとうございました